

第1号様式（第5条関係）

戸田市市民活動サポート補助金応募用紙（2っこり・10じつ）

（宛先）
戸田市長

平成27年4月15日

団体名 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
 代表者氏名 代表理事 藤田 徹
 代表者住所 [REDACTED]
 代表者連絡先 [REDACTED]

コース	2（に）っこりコース	10（じゅう）じつコース
事業名	地域支え合いの仕組み推進事業「とだ・お～る助っ人隊」	
補助年数	1年目	2年目 3年目
実施期間	平成27年4月1日～平成28年2月29日	
事業総額	4,609,020円	
補助対象経費	1,870,020円	
補助金申請額	1,000,000円	
確定前交付の希望	希望する	希望しない
実施場所	戸田市内	
対象者	戸田市民	
申請中又は交付予定の補助制度	名称	
	実施主体	

《団体の概要》

団体名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	
代表者	氏名	代表理事 藤田徹
	住所	[REDACTED]
	電話	[REDACTED]
	e-mail	[REDACTED]
連絡担当者	氏名	担当責任者 芹沢由和
	住所	[REDACTED]
	電話	[REDACTED]
	e-mail	[REDACTED]
ホームページ	http://pocket.roukyou.gr.jp	
設立年月日	平成13年9月13日 設立	
会員数	利用会員102人・ボランティア会員52人	
年会費	1000円/1年間(利用会員のみ)	
団体の目的	<p>生活と地域が必要とする仕事をおこし、働くことの社会的価値を高め、誰もが尊厳をもって生きられる社会をつくります。</p> <p>①地域の人々と協同し、生活と地域の必要と困難、課題を見出し、その解決をめざします。</p> <p>②仕事をおこし、地域をよりよくしようとする、あらゆる人びととその取り組みから学び、よい仕事へと結びます。</p> <p>③よい仕事を地域に広げ、働く人びとの生活の豊かさと幸福の実現をめざします。</p>	
主な活動実績	<p>平成24年度埼玉県地域支え合いの仕組み推進事業 (平成27年3月31日補助事業の終了)</p> <p>戸田市多世代交流広場「わいわいスポット」(平成26年12月1日～)</p>	

平成26年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用件数	111	121	135	157	125	119		
利用時間数	155	174	240	229	174	153		
利用会員登録数	67	69	78	81	86	85		
ボランティア会員登録数	50	51	52	53	53	50		
利用券発行枚数	178	158	210	276	146	181		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実績	参考:目標
利用件数	121	139	142	106	124	148	計1548	
利用時間数	174	193	211	158	174	216	計2251	1440
利用会員登録数	89	92	98	99	100	102		70
ボランティア会員登録数	53	53	53	52	52	52		80
利用券発行枚数	199	202	222	160	148	162	計2242	1440

利用については、件数・時間数・会員登録数・券発行枚数のすべてが1年を通して増加した。

(年利用時間：目標では累計1440時間のところ実績は2251時間。月別利用時間数：4月155時間⇒3月216時間)

ボランティアについては、会員登録数が1年を通して横ばいとなった。

(ボランティア会員登録数：目標では累計80人のところ実績は52人。4月50人⇒3月52人)

「とだ・お〜る助っ人隊」の取り組みから見えてきた地域課題や問題意識をもとに、戸田市商工会・戸田中央商店会と「くらしの安心きずなノート」(社会資源マップとエンディングノートの機能を合わせた冊子)を作成し、周辺地域・関係機関に配布した。困りごとやをもしもの時の対応・連絡先等を、市民自らが書き込み、伝えることができる「知り・知らせ・結びつきツール」となった。⇒J:COM川口・戸田で取材を受け、「とだお〜る助っ人隊」の取り組みが放映された。(2/16「デイリーニュース川口・戸田」別添DVD参照)

昨年度の補助金等の援助状況	埼玉県地域支え合いの仕組み推進事業補助金
団体PRなど	生活と地域が必要とする仕事をおこす「協同労働の協同組合」 戸田市商工会に所属 別紙 2015年度営業案内参照

※別紙での提出可

《事業計画書》

1 事業名

地域支え合いの仕組み推進事業「とだ・お〜る助っ人隊」

2 事業の目的

元気な高齢者等のボランティアが援助の必要な高齢者等を支えるとともに、ボランティア自身の介護予防と地域の商業振興等につながる「地域支え合いの仕組み」づくりを支援することを目的とする。

3 具体的内容

①ボランティアによる支え合い活動

ボランティアが、利用者に対して、以下に例示するサービスの全部または一部を提供するよう、ワーカーズコープぽけっとが調整する。

買い物代行

外出の支援（買い物同伴、通院付き添い、散歩の同行など）

部屋の掃除（家具の移動、窓ふき、電球交換など）

障子等の張り替え（網戸の張り替えなど）

屋外における作業（庭の手入れ、ゴミだし、犬の散歩など）

話し相手

その他必要とする日常生活の援助（児童の送迎等）

②ボランティアへの謝礼

ボランティアに対し、利用者から得た利用料等の全部又は一部を謝礼として還元するとともに、活動実績と謝礼の支払い方法等について明示する。

③地域の商業振興等

戸田市内において、以下に例示する取組を行うことで、戸田市の商業振興等につなげる。

ボランティアへの謝礼を地域通貨「戸田オール」券等とする。

戸田市花フェスタ等の商業振興等につながる取組を行う。

④会費の徴収

支え合い活動の実施にあたり、利用者及びボランティアの双方から、利用者の生活水準等によって利用が制約されない金額で、会費を徴収する。

⑤広報

ホームページ等をとおして、地域支え合いの仕組み推進事業「とだ・お〜る助っ人隊」の取組みを普及する。

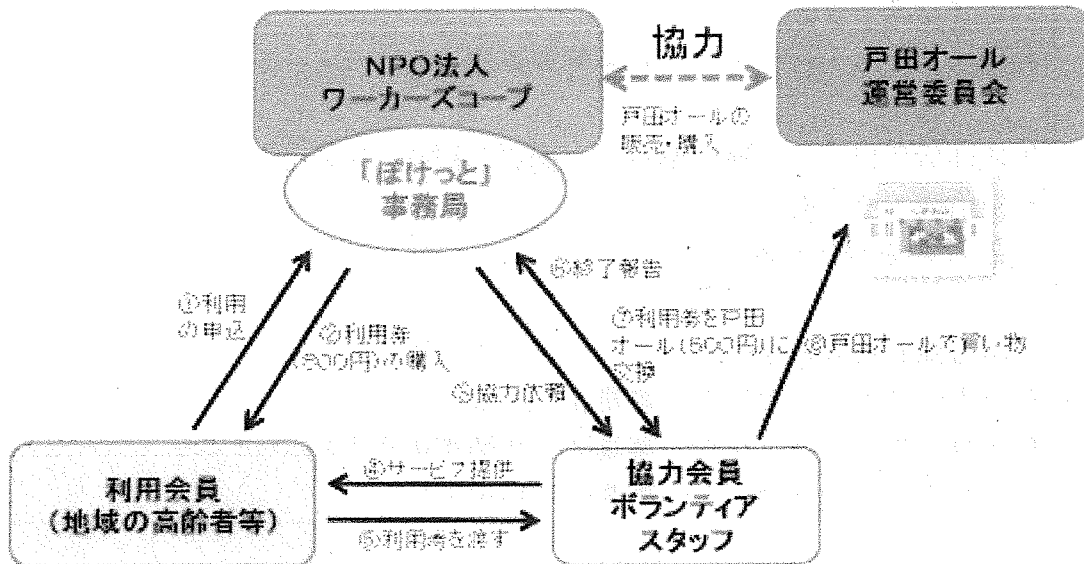
⑥ボランティアの育成

講習会等を開催し、ボランティアの育成及び資質の向上に努める。

⑦関係機関との調整

関係機関との連絡調整をとおして、利用者及び地域の課題解決に努める。

地域支え合いの仕組み推進事業「とだ・お〜る助っ人隊」



④リ ドス内容 ①買物代行 ②外出の支援 ③部屋の掃除 ④戸外での作業 他

1 高齢者等の日常生活の安心確保

2 元気な高齢者の介護予防

3 地域経済の活性化

3つのメリット
一石三鳥!

4 事業実施のスケジュール

月日	内 容
4月	戸田市花フェスタに出展参加
5月	ボランティア会員懇談会
6月	ホームページのリニューアル コーディネーター研修会
7月	ボランティア講習会
8月	戸田中央商店会フェスタに出展参加
9月	コーディネーター研修会
10月	戸田市地域福祉祭りに出展参加 ボランティア講習会
11月	戸田中央商店会フェスタに出展参加
12月	コーディネーター研修会
1月	戸田中央商店会フェスタに出展参加 ボランティア講習会
2月	ボランティア会員懇談会

5 事業に携わる人数・団体など

担当責任者 1 名

コーディネーター 1 名

利用チケット・戸田オール券等管理事務 1 名

地域通貨戸田オール運営委員会（協定を締結 平成 25 年 2 月 14 日～）

戸田市商工会（会員）

戸田中央商店会（会員）

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会

ワーカーズコープセンター事業団 本部

ワーカーズコープセンター事業団 北関東事業本部

ワーカーズコープセンター事業団 戸田ぼけっと

6 事業実施の際に予想される課題

平成 26 年度の取組みから見えてくること

①地域包括支援センター等からの依頼が増え、介護福祉士の資格を有するコーディネーターがサービス提供に入り、利用時間が 2251 時間（目標 1440 時間のところ）となった。

⇒依頼内容の多様化・介護への専門化するなかで、活動内容をボランティアによる「ちょっとした困りごと」の助け合い活動に戻すことが必要。

②相互の負担感を軽減し、助け合い活動が継続できる仕組みを見つけていくために、利用会員・ボランティア会員との懇談・協議をおこなった。

⇒事務局とボランティア会員との協議の結果、ボランティア会員の負担感が「1 時間 500 オール」という時間を単位にする仕組みに起因することがわかり、「1 回 500 オール」という仕事を単位にする仕組みに変更する準備をおこなった。

⇒事務局が主な利用会員を訪問し、利用会員との協議をとおして、「ボランティア会員の行き来の時間を含めて 1 回 1 時間」とし、1 回あたりの仕事量（40 分程度）とすることの合意を作っていた。利用会員からは「助け合い活動が無くなると困るので、継続してほしい」という要望だったので、利用会員の反対意見は無かった。

平成 27 年度の課題

利用者・地域包括支援センター等からの問い合わせや利用依頼が増加すること。増加する依頼に対応するボランティアの育成・養成が必要となること。

ボランティア会員へのサポートがより一層必要となること。

そのために、コーディネータの常駐体制を確立し、連絡調整及び相談援助機能を高めていくこと。

7 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

①コーディネーター業務の再確立

コーディネーターの常駐体制の確立：1日8時間*週5日
（連絡調整2H・相談援助6H/日）

コーディネーター研修会の実施 6月・9月・12月

②新たなボランティア会員の登録

20名（累計52人⇒72人）

ボランティア講習会の実施 6月・10月・1月

ボランティア会員懇談会の実施 5月・2月

③利用時間

月平均250時間（年累計2251時間⇒3000時間）

④広報の充実

ホームページのリニューアル等（6月実施予定）

8 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

戸田市全域の支え合いの仕組み推進事業としていくこと。

ボランティアによる「ちょっとした困りごと」の助け合い活動を、子育ての支援・安心安全な街づくりの活動にもひろげていくこと。

だれでもができる助け合い活動にしていくこと。

コーディネーター賃金を確保できる仕組・体制を構築していくこと。

現状：月利用時間200時間*（800円-500円）=6万円/月

⇒ 300時間*（1000円-600円）=12万円/月（要検討）

⇒ 400時間*（1200円-700円）=20万円/月（要検討）

ボランティア会員の確保・養成

ボランティアの募集⇒ボランティア講習会・ボランティア会員懇談会の実施

ホームページ・イベント（福祉祭り・商工祭等）での案内

戸田市広報等に掲載を依頼

関係機関との協議を通して、全市民支え合い活動にむけたロードマップの作成を進めること。

《収支予算書》

【収入】

(円)

科目		予算額 ①	内 訳
補助金・助成金	市民活動サポート	¥1,000,000	10じつコース1年目
	その他	¥0	
自己資金		¥0	
会費		¥30,000	新規利用会員30人* @1000円
利用者負担金		¥2,200,000	月250時間*11月* @800円
協賛金・寄附		¥1,379,020	ワーカーズコープ社会連帯基金ほか
その他		¥0	
合 計		¥4,609,020	

【支出】

(円)

	科目	予算額	補助申請額	自主財源	内 訳
補助対象経費	コーディネーター賃金	¥1,411,520	¥754,816	¥656,704	160H*802円*11月
	消耗品費	¥16,500	¥8,824	¥7,676	コピー用紙・インク等1500円*11月
	保険料	¥120,000	¥64,170	¥55,830	ボランティア保険・損害保険 一式
	謝礼金	¥60,000	¥32,085	¥27,915	コーディネーター研修・ボランティア講習等謝礼 1万円*6回
	交通費	¥12,000	¥6,417	¥5,583	2000円*6回
	広報宣伝費	¥250,000	¥133,688	¥116,312	ホームページリニューアル等
小 計		¥1,870,020	¥1,000,000	¥870,020	
補助対象外経費	家賃	¥1,100,000	—	¥1,100,000	(事務所9万+車庫1万) 10万円*11月
	通信費	¥88,000	—	¥88,000	(NTT等) 8千円*11月
	光熱水費	¥176,000	—	¥176,000	(電気料等：電燈・動力ほか) 1万6千円*11月
	戸田オール券 購入費	¥1,375,000	—	¥1,375,000	(サービス提供250H*500オール) *11月
小 計		¥2,739,000	—	¥2,739,000	
合 計		¥4,609,020	¥1,000,000	¥3,609,020	